

大牟田信用金庫のあゆみ

大正 6年 5月	三川信用購買組合設立 事務所を三川町役場内に設置
大正14年12月	信用組合に改組し、三池港信用組合へ改称
昭和 2年 5月	事務所を三川町に移転
昭和14年 4月	事務所を諏訪町に移転
昭和20年12月	市街地信用組合法による信用組合となる
昭和21年10月	大牟田信用組合に改称
昭和23年 7月	三川支店を新設
昭和25年 4月	中小企業等協同組合法による信用組合となる
昭和26年 8月	本店を有明町に新築移転
10月	信用金庫法により大牟田信用金庫に改組
昭和31年11月	三川支店を新築移転
昭和32年 9月	銀座支店を新設
昭和34年12月	高田出張所を新設
昭和36年 8月	高田出張所を高田支店に昇格
昭和38年12月	本店を新築
昭和41年 5月	筑後支店を新設
昭和43年12月	通町支店を新設
昭和45年 7月	三川支店を新築移転
12月	新栄町支店を新設
昭和51年10月	上官支店を新設
昭和56年12月	三池支店を新設
平成 3年12月	北支店を新設
平成 8年 6月	勝立支店を新設
平成12年11月	北支店を吉野支店に名称を改め新築移転
平成14年 5月	新栄町支店を新築

柳川信用金庫のあゆみ

大正15年 7月	柳河町信用組合設立
8月	事務所を柳河町役場内に設置
昭和 6年 3月	事務所を中町に移転
昭和10年 2月	柳河町信用販売組合に改組
昭和12年 7月	事務所を小道具町に新築移転
昭和13年 9月	柳河町信用販売購買利用組合に改称
昭和19年 3月	柳河町農業会に改組
昭和23年 8月	柳河信用組合に改組
昭和25年 2月	中小企業等協同組合法による信用組合となる
昭和26年 4月	柳川町信用組合に改称
昭和27年 4月	柳川信用組合に改称
昭和28年 5月	信用金庫法により柳川信用金庫に改組
昭和29年 3月	事務所を京町に新築移転
昭和33年 7月	大和出張所を新設
昭和34年 4月	大和出張所を大和支店に昇格
昭和35年 2月	沖端出張所を新設
8月	沖端出張所を新築移転
昭和36年 6月	沖端出張所を沖端支店に昇格
11月	大和支店を新築移転
昭和40年 6月	瀬高支店を新設
昭和42年11月	沖端支店を新築移転
昭和51年 8月	蒲池支店を新設
昭和58年10月	下百町支店を新設
平成 9年 5月	大和支店を新築
平成14年12月	瀬高支店を新築移転

大牟田柳川信用金庫のあゆみ

平成16年11月	大牟田信用金庫と柳川信用金庫が合併し、大牟田柳川信用金庫としてスタート
平成17年 7月	中小企業金融公庫と業務提携・協力に関する覚書を締結
平成18年 4月	「投資信託」「変額個人年金保険」の販売を開始
平成19年 5月	大牟田柳川信用金庫創立90周年
11月	蒲池支店を新築移転
平成20年11月	店舗効率化を図る目的で、上官支店を本店営業部に、下百町支店を柳川営業部に統合
12月	旧上官支店の一部を暴追協事務所及び警察官詰め所として大牟田市と有期無償貸与契約を締結
平成22年 1月	地域金融円滑化のための基本方針を制定・公表
10月	店舗効率化を図る目的で、銀座支店を新栄町支店に統合
平成23年 1月	旧銀座支店に事務部を移転し、事務センターとして開設
平成26年 8月	日本政策金融公庫と業務連携・協力に関する覚書を締結
平成28年 2月	県内8信用金庫、福岡県信用保証協会及び信金中央金庫との創業支援等に関する業務提携・協力に関する覚書を締結
平成29年 2月	沖端支店を筑紫町に新築移転
5月	大牟田柳川信用金庫創立100周年
平成30年10月	『創業支援センター』を設立し、同時に日本政策金融公庫と連携した創業支援融資商品「3UP」の取扱開始
令和 2年 3月	「しんきん知財コーディネーターズ」の一員として「開放特許実施許諾調印式」に参加
令和 2年 7月	令和2年7月豪雨災害の支援物資を大牟田市へ寄贈
令和 2年 8月	預金量2,000億円達成
令和 2年11月	令和2年7月豪雨により、甚大なる被害が発生した大牟田市へ100万円を災害支援寄付として寄贈
令和 3年 3月	「九州北部しんきん事業承継ネットワーク」へ参加
令和 3年 3月	「令和2年度地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」に認定され内閣府特命担当大臣より表彰状を受領